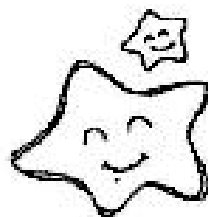


QSK にぬふあぶし

No.231

ね
子の方向の星(北極星)



追悼 平田有功さん

2016年3月5日、病氣療養中のところ、平田有功さん(那覇市家族会)が入院先の病院で亡くなりました。78歳でした。

平田さんは沖福連の第3代会長(2007~2011年)、ふくぎの会・那覇市精神障害者家族会の会長を務めながら、グループホーム世話人、支援センターの相談員も引き受けるなど、一人で3役も4役もこなし、沖福連20周年記念大会(2008年)では、映画『ふるさとをください』の上映を那覇・浦添の市民運動とタイアップし

て実現し、障がい者の社会参加に尽力されました。

ふくぎの会が設置母体となった那覇市「アトリエ種子」は、精神障がい者の通うことのできる沖縄で最初の作業所ですが、平田さんがふくぎの会会長時代には、「ふれあい」「なは倶楽部」「小禄第一」と、市内につぎつぎと作業所活動が広がっていきました。

家族会と那覇市との信頼関係のもとに、1992年から始まった那覇市保健センターの清掃業務委託は、家族と当事者の社会参加の新たな形として、他の市町村にも影響を及ぼしました。那覇市福祉祭りや障がい者運動会、文化祭などにも休日返上で顔を出し、精神障がい者の社会参加に精力的に汗をかいておられた姿には、心から敬服させられました。

また、平田さんはカラオケが得意で、深夜の《桜坂》に何度か誘われてご一緒させていただきましたが、どのお店でも常連客らしい平田さんの顔見知りから声をかけられ、交際の中広さに驚かされたことも忘れられない思い出です。

「ともに語り、悩みを希望にかえよう」と、沖福連の一時代を築いたガーजूのタンメーがいなくなったことに、一抹の寂しさがこみ上げてくるのは、私一人ではないはずです。安らかに、お眠り下さい。

「家族による家族学習会」担当者研修会 in 沖縄

もくせい家族会 佐藤美樹子

2007年から、北は北海道から南は沖縄までと「家族による家族学習会」の普及に努めてきましたが、2月15日に沖縄で担当者研修会を開催し、ついに沖縄の地で、家族学習会が実施できるようになり、夢が叶った思いです。

家族同士の語り合いの場ですが、これまでのものとは全く違い、テキストを使って体系だった中で体験を語り合い、労い合うことにより、家族が力を取り戻していくプログラムです。



疲弊していた参加者家族に価値観の転換が起き、元気に笑顔になっていく姿に、「家族による家族学習会」を実施した担当者が感動を覚えます。何より担当者が元気になるにつれて力をつけていきます。同じテーブルで同じ目線でありのままに語り合うことは、社会参加するあり方を学び、偏見を乗り越える力になります。

沖縄の4つの家族会の皆さんが集まり、担当者研修会を実施しました。それぞれ担当者のチームとして参加でした。大勢の沖縄の仲間との一日は、同じ苦労を重ねてきたことを確認し、その中で工夫して何とか支えてきたことへの労いの気持ちと共に、これからを更に一緒に歩いていくことを思うと心強い思いでいっぱいになりました。

私たちは翌日、副会長の山田さんに沖縄を案内していただきました。温かい気候の中で穏やかな癒しの島という印象が強かったのですが、慰霊塔やアブチラガマなどを案内していただき、皆さんの現実を目の当たりにし、その歴史の重みが胸に迫りました。平和とは何か、人間とは何かと様々な思いが交錯し、当時を思いながら山田さんのお話を聞かせていただきました。

埼玉に帰って大変貴重な体験を思い出す中で、今を精一杯生きることが先人に報いることではないかと、先に進む力が湧いてきました。現在の状況を受け入れて家族それぞれの人生を生きることを、大事にしていきたいと思っています。命の大切さをしみじみ思い、学びの多い沖縄に感謝しています。海を渡ってたくさんの文化を運んでくれた大切なところで、ふる里に帰ったようななぜか懐かしい気持ちになりました。

「家族による家族学習会」は、おもてなしと出来ているところに注目することを大切にしています。心地よい語り合いの場をつくり、家族同士で本音で体験を共有して明日への力を取り戻していくこの「家族による家族学習会」を、沖縄の皆さんとも一緒に取り組んでいけることを楽しみにしています。

宜野湾市地域活動支援センター「はぴわん」だより

桜の花々も緑へと変わり、やわらかな春の日差しがうれしい季節になりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて、はぴわんでは去った1月15日に「新春餅つき会」を開催致しました。開催するにあたり、杵と臼は宜野湾市社会福祉協議会、もち米・あんこ・きな粉・その他の機材は、ご近所にある宮里和菓子店よりご協力を頂きました。

餅の味付けのバリエーションも豊富に準備し、いちご大福、あんこ、チーズ、のり、大根おろし、醤油、きな粉、みたらし、添え物に大根の酢のもの、味噌汁を用意し、楽しみながら皆さんのお腹に満足をお届けすることができたと思います。

今回初めての開催で不慣れなことが多く、不安もあるなか、普天間地域の皆様、各関係機関などのご協力もあり70名を超える方々の参加がありました。皆さんと共に、つきたての美味しいお餅を頂きながら今年一年の健康祈願ができ、大いに盛り上がりました。

今後も地域の皆様と共に協力し、宜野湾市、はぴわんを盛り上げながら、障がい分野の普及啓発活動により一層努めて行きますので、これからもご協力を宜しくお願い致します。



第2回ころんピック

(第14回沖縄県精神障がい者ソフトバレーボール大会)

開催と報告

去る2月24日～26日にかけて「第2回ころんピック」が開催されました。今年に参加チームが16チームと最少でした。そんななかでも各チーム、練習の成果を発揮して盛り上がる試合ばかりでした。

試合の結果、今年も精和病院のなかゆくい会チームが2連覇を達成しました。精和病院は過去に4連覇を達成したチームだけあり、他と比べて一步ぬきんでている感じが見受けられました。

しかし、精和病院は去年優勝し、九州大会に派遣されたことから、沖縄大会のローカルルールにより、準優勝の天久台病院アルファチームが九州大会に派遣されることになりました。おめでとうございます。

開催地は北九州(小倉北体育館)で4月25日(日)に開催されます。天久台病院のアルファチームには思う存分力を発揮してもらえたらいいなあと思います。



◎ 編集後記 ◎

レトルトのソースを使わずにスパゲティを上手に作るのが、どうも苦手です。ナポリタンにペペロンチーノ……。

いつもパサパサに炒めすぎたり、味がひどく偏っていたり、麺と具が完全に分離してしまったり。こりずに試行錯誤を続けていきます。(増)

編集:公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会
会長 島田 正博

〒901-1104 南風原町字宮平 206-1
てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行:九州障害者定期刊行物協会

〒810-0001

福岡市中央区天神 1-16-1 毎日福岡会館 7F

電話 092-753-9722 FAX092-753-9723

定価:10円(会費に含まれる)